

小さな学校で
子ども達の豊かな心が大きく育んでいる——!

文部科学省選定

青少年育成国民会議推薦
和歌山県教育委員会推薦

優秀映画鑑賞会推薦



〈いきいきドキュメンタリー〉

りゅうがく

山村留学の子どもたち



ナレーション/三波 豊和

監督/八頭司 享

プロデューサー/八頭司 重信 撮影/林 健作 照明/山北 一祝 録音/中山 裕 編集/木村 理恵 整音/浜口 十四郎 製作デスク/熊谷 昌文

撮影協力/和歌山県伊都郡かつらぎ町・かつらぎ町立新城小学校・新城山村留学センター

制作協力/トップスタジオ EIWA INC・イノベスタジオ

制作/共和教育映画社

文部科学省選定

優秀映画鑑賞会推薦

山村留学の いきいき 子どもたち



ナレーション ■ 三波 豊和
 プロデューサー ■ 八頭司 重信
 撮影 ■ 林健作
 照明 ■ 山北一 祝
 録音 ■ 中山 裕
 編集 ■ 木村理恵
 整音 ■ 浜口十四 郎
 製作デスク ■ 熊谷昌文
 監督 ■ 八頭司 享

この作品は、豊かな自然の中で学ぶ、いきいきとした子ども達と里親を引き受けた地元の人達、先生との温かい心のふれあいと交流を描く感動のドキュメンタリー映像です。



〈ストーリー〉

和歌山県北部、紀ノ川を挟み南北に広がる高野山の麓かつらぎ町に、新城山村留学センターがある。ここでは5人の里親、浦さん夫婦と子ども達が寝起きを共にしている。浦さん夫婦は、「おっちゃん」「おばちゃん」と呼ばれ子ども達に親しまれている。

小学校では19人の児童が学び、うち9人が留学生で、遠く広島から親元を離れて来ている子もいる。2年生の留学生大樹君は、授業が終わると日が暮れるまで校庭で遊び、休みの日には蛙をとったり、畑に水をやったりして毎日が楽しそう、とても元気がいい。5年生の秀明君は、低学年のめんどろをよくみ、昆虫を採ったりするのが得意で地元の子ども達に負けてはいない。今年の6年生は6人で4人が留学生。一学期最後の日、通知票を見せ合って楽しんでいる。

この学校では、都会の学校では見られない竹細工を取り入れた生涯学習の授業、先生と児童

の川遊び、キャンプファイアなど、先生もなにかといそがしい。

又、この地は、果物の産地としても有名で、四季おりおりの果実が山の斜面に元気に実をつけ、秋には柿が実り、串柿が美しく山里の冬をつける。

新城に里親制度を取り入れて17年。都会になじめずこの地で暮らした子どもは150人を超えた。浦さん夫婦もその内の75人の子どもを育てた。

子ども達は、先生と里親、地元の人達に温かく見守られ、すくすくと育ってきた。たまには喧嘩もする。だが、みんな仲が良く未だに逃げ帰った子どもは一人もない。

そして、今年の卒業生は6人。自然とふれあい、小さな小さな学校で学んだ豊かな心、今、在校生に見送られ大きく羽ばたいていく。



価格 ⑬ ¥180,000 ① ¥70,000 DVD ¥70,000 上映時間 30分



共和教育映画社

URL <http://www.kyowafilm.com> E-mail avi@kyowafilm.com

〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路6-4-111 延原倉庫淡路物流センター

TEL 06-6322-1800 FAX 06-6322-2255